

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	32	1	基本事務事業名	市単独事業(土成連絡送水管布設工事)	事務事業名	市単独事業(土成連絡送水管布設工事)	公的関与	3	シート作成日	平成28年6月29日	
	部局名	-		課名	水道課	主務課長名	阿部 守		シート作成者名			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託	
		<input checked="" type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(2) 水道の整備			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 24 年 ~ 平成 32 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし	
			主要施策		(2) 安心・快適な給水の確保			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		水道法
	事業の対象・目的		対象(誰を、何を)		市民(上水道加入者・土成地区)							
			目的(どういう状態にしたいのか)		最終的		市場高区配水池から土成低区配水池を連絡管で結ぶことにより、水質の安定、水量の確保、施設の効率化等を目的とします。					
					今年度		平成27年度(繰越)事業の土成連絡送水管布設工事を行います。					
事業の活動内容		具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)										
		① 測量設計										
		② 工事発注・監督										
		③										
		④										
		⑤										
数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)		指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標	
		計画区間の施行率		施工済延長/計画区間延長(6,100m)		%	目標	41%	41%	52%	100%	
							実績	31%	41%			
							目標					
							実績					
							目標					
							実績					
DO	予算費目		会 計		款		項		目		備考	
			平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算					
	直接事業費		国庫支出金		千円		千円		千円			
			県支出金		千円		千円		千円			
			地方債		千円		50,000 千円		50,000 千円			
			その他特定財源		千円		50,000 千円		50,000 千円			
			一般財源		千円		千円		千円			
			計(A)		0 千円		100,000 千円		100,000 千円			
	人件費(B)		正職員工数・経費		人 0 千円		2,500 人 14,523 千円		2,500 人 14,548 千円			
			臨時・嘱託職種									
		臨時・嘱託工数・経費		人 0 千円		人 0 千円		人 0 千円				
		全体事業費(A+B)		0 千円		114,523 千円		114,548 千円				

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合評価	○ 少ない	● 大きい	土成地区では台風等による吉野川の増水時に水質が安定しないため、水質の安定、水量の確保、施設の効率化等、生活の維持に必要な不可欠な水道水を安定供給するため必要であります。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい						○ 少ない	● 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある						○ ない	● ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない						○ ある	● ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない						○ いる	● いない		
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる				市場高区配水池から土成低区配水池を連絡管で結ぶことにより、土成地区の40%の使用水量を賄うことができ災害時等に有効であります。	○ いえない	● いえる			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる					○ いえない	● いえる			
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない					○ する	● しない			
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる					○ できない	● できる			
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている				目標設定に対して概ね達成していると思います。しかし、本工事は県道船戸切幡上板線に布設計画しているため、県との協議等により繰越しとなることがあります。	○ 目標に比べて劣っている					
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない					○ あまり上がっていない					
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している					● 概ね達成している					
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している					○ 十分達成している					
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当			県道船戸切幡上板線バイパス工事の整備計画に合わせ工事完了区間から順次、本工事を行うことにより、施工性及び経済性の面で有利となりコスト削減が見込めます。	○ 高い	● 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない				○ できる	● できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない				○ ある	● ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない				○ ある	● ない				
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等	A	○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等	A		
	当面の課題	県道船戸切幡上板線の整備計画の進捗率に影響されるため、繰越事業となることがあり県と協議しながら工事を推進していく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	事業計画を実行するため、県と協議しながら推進していく必要があります。					土成地区への安定した水の供給が行えるよう事業を計画的に進めている。						
委員会指摘事項													